

関係性について 一環一

as to relationship —KAN—

小田部黄太

KOTABE Kouta

造形芸術学科



ここ数年「関係性について」というテーマで制作を行っている。彫刻は、絵画との関係からみても「存在していること」を本質的に抱えた表現といえるだろう。その物理的な「存在」と人が認知する「存在」との関係性。また、2点の作品を並べ表現する、その2点の彫刻の関係性。更に、作品と鑑賞者の関係性、そして、その後ろに見え隠れする制作者との関係性。

諸行無常の観点から俯瞰してみれば、日常から宇宙までの神羅万象は関係性で形作られているのかもしれない。「存在」を手掛かりに「関係性について」考えていきたい。

800×1,000×600（高さ）mm 鉄、真鍮、銅 2023年制作 福岡県美術展 会員の部 2023年9月